

# 2017 NICE にほんごスピーチコンテスト

しんさいん  
審査員  
とくべつしょう  
特別賞

SPECIAL PRIZE

デイビス ターニャ リネット



アメリカ

『勇気を持って逆境に立ち向かう』

「勇気を持って逆境に立ち向かう」あなたはこの言葉を聞いた時何を思いますか。それはとても難しい、という事でしょう。“言うは易し行うは難し”という言葉のように、実際に逆境に立ち向かうのは簡単なことではありません。私は子供のころから、逆境にたくさん直面してきました。そうは見えないかもしれませんが、私の足には障害があります。私は6歳か7歳のとき、自分と他の子が違うことに気が付きました。友達と一緒に走って遊ぶこともできなくて、虐められました。



「勇気を持って逆境に立ち向かう」

だんだん大人になるにつれ、この言葉が私に対してどんな意味があるのか考(かんが)えました。最初はそれを聞き流していました。他の人は、この言葉が、私にとってどれほど難しいかをきっと知りません。私には無理だと思いました。

でもけっきょく私は分かりました。難しいけれど、これは一番いいアドバイスだったのです。でわ、どうやってこの言葉が私に役に立つようになったのでしょうか。まず、私は逆境を受け入れました。勇気を持って「私は他の人と違う、それで構わない！」と自分に伝えました。

次はやりたいことをするために外の逆境に立ち向かわなければなりません。日本には最初に留学生としてきました。その時私はあまり歩く事ができなかったので車いすを使用しました。多くの人から「日本に来るのは難しい」と言われました。でもどんな難局があっても、勇気をもって立ち向かうことを決めました。勇気を持てば十分だと思っていましたが、日本に来たばかりの時、大きい問題が現れました。大学は急なさかの上にあります。一人で車いすで上ることは無理でした。他の人を頼りたくありませんでした。さらに手を借してとお願いすることは恥ずかしいと思っていました。しかし、この時勇気を持ちました。時々人には一人でできない事があります。その時誰かに声をかけて、助けを求めることは欠点ではありません。

最後に、全然できない事もありました。悔しいけど、一所懸命頑張ったならがっかりしたり怒るべきではありません。留学の前に、日本で英語を教えるインターンシップに申し込みをしました。全部が

うまく行くと思っていました。でも、車いすを使うことを言ったら、拒まれました。しばらく、日本に行く夢を諦めることを考えました。でもその言葉を思い出したのです。「勇気を持って逆境に立ち向かう」。

私はたくさん勇気を持つことができ、逆境を乗り越えることができました。手術を受け、もう車いすは使いませんが、この言葉は永遠に覚えています。皆、同じように逆境に向かうわけではありませんが、もし難局に直面したなら勇気を持って立ち向かってください。

